

令和8年度 社会科自由研究評価の観点

観 点	具 体 的 な 観 点
動 機	・ 社会科の学習や、普段の生活の中で感じた驚きや疑問から研究テーマを設定して取り組んでいるか。 ・ 継続研究では、前年度、前作品からの深まりが見られるか。
方 法	・ 研究テーマに合った方法で研究を進めており、選択した調査方法によって内容が深まっているか。 （例）「デザインマンホールを探せ！」というテーマならば、広報誌で大まかな情報を集める、実際に写真を撮って地図に表す、管理者やデザイナーにインタビューして思いや工夫を知る、といった方法が考えられる。
内 容	・ 社会科の自由研究として、身近にある事柄を社会的事象として捉えているか。以下を例に挙げる。 地理的分野・・・位置、分布、範囲、社会生活と自然環境との相互関係など。 歴史的分野・・・起源、変化、人物、継承、推移や比較、社会的事象と現在とのつながりなど。 公民的分野・・・国や地方公共団体、選挙、社会保障、災害復旧、租税、地域の開発など。
まとめ方の工夫	・ 調べた内容を、表やグラフ、図や年表など、テーマに対して効果的な形式で分かりやすく分類・整理しているか。 ・ 調べたことをもとに、考えたことについて、根拠や解釈を示しながら表現したり、説明したりしているか。
考察 振り返り	・ 調べた内容を比べたり、整理してまとめたりする中で、テーマについて自分の考えを深めているか。 ・ 社会的な見方、考え方を働かせて、社会的事象の意味や特色を考えているか。 ・ 考察や振り返りを通して新たな問いを見出したり、自分の生活と結びつけたりしているか。
その他	・ 「動機→方法→結果→まとめ（考察や振り返り）」といった、順序立てた構成ができているか。 ・ 書物やインターネットを活用した場合、出典や引用先が明記されているか。（ 著者名、書名、出版社名、サイト名、URL等） ・ 継続性のある研究テーマかどうか。今後より深い研究が行われる研究テーマの設定がされているか。

補足 社会科自由研究と調べ学習コンクールの違いについて

	社会科自由研究	調べ学習コンクール
内容	社会的事象（地理的、歴史的、公民的な分野）に注目した内容であること。	テーマは自由。
調べ方	書物、見学、体験、実地調査、インタビュー、アンケート、インターネットなどがある。もちろん図書館を利用してもよい。	公共図書館や学校図書館を <u>必ず利用する</u> 。インターネット等活用してもよい。
考察	調査結果から、自分の生活との結びつきや、今後の生活に生かしたいことなどを考える。	図書館の資料を通して深く調べられているものが多いが、必ずしも考察が求められているわけではない。
サイズ	<u>A4</u> のファイルやノート	B4以下
枚数	制限なし	50ページ以内

参考例

「妖怪」をテーマにした場合

- 図書館の本を使って、日本にはどんな妖怪がいるか調べた。
→ 調べ学習
- 自分の住む地域に伝わる妖怪を、書物を読んだりインタビューをしたりして調べ、由来や起源など地域の歴史とつなげて考えた。
→ 社会科自由研究

「交通標識」をテーマにした場合

- 図書館の本を使って、交通標識の種類や意味を調べた。
→ 調べ学習
- 地域の交通標識について、近くを歩いてその分布を調べ地図にまとめた。分布の多い箇所についてその理由を考えた。
→ 社会科自由研究